

織田信長（1534—1582）は 1567 年に稲葉山城を占領し、それを日本で最も素晴らしい城のひとつ、宮殿と軍事基地に改造した。信長が天下統一のための計画を練ったのはここで、信長は様々な客を招待した：武将、家臣、公家、さらには外国人宣教師さえ信長を訪問した。信長は城内の複合施設を案内し、岐阜城の豪華さと威厳を用い、その権力と権威を強調した。

山頂からは、濃尾平野 …はるか遠くまで広がった信長の領土が見渡せた。ポルトガルの宣教師レイス・フロイス（1532-1597）と公家の山科言継（1507—1579）など特別に招待されたゲストは、印象的な景色と信長のすばらしいおもてなしを熱心に話し、世に広めた。